



非Kerberos環境でストレージにアクセスする ためのnullセッションの使用

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

非Kerberos環境でストレージにアクセスするためのnullセッションの使用	1
ONTAP SMB nullセッションを使用して、非Kerberos環境でストレージにアクセスします。	1
ONTAP SMB ストレージ システムがヌル セッション アクセスを提供する仕組みを学びます	1
ONTAP SMBファイルシステム共有へのアクセス権をNULLユーザーに付与する	2

非Kerberos環境でストレージにアクセスするためのnullセッションの使用

ONTAP SMB nullセッションを使用して、**非Kerberos環境**でストレージにアクセスします。

ヌルセッションアクセスは、ストレージシステム データなどのネットワーク リソースや、ローカル システムで実行されるクライアント ベースのサービスに対する権限を提供します。ヌルセッションは、クライアント プロセスが「system」アカウントを使用してネットワーク リソースにアクセスしたときに発生します。ヌルセッション設定は、Kerberos 以外の認証に固有です。

ONTAP SMB ストレージ システムがヌル セッション アクセスを提供する仕組みを学びます

nullセッション共有には認証が必要ないため、nullセッション アクセスが必要なクライアントはそのIPアドレスがストレージ システムにマッピングされている必要があります。

デフォルトでは、マッピングされていないnullセッション クライアントは、共有の列挙など一部のONTAPシステム サービスにはアクセスできますが、ストレージ システム データへのアクセスは制限されます。



ONTAPは、`-restrict-anonymous`` オプションを使用してWindows RestrictAnonymousレジストリ設定値をサポートしています。これにより、マッピングされていないnullユーザがシステム リソースを表示またはアクセスできる範囲を制御できます。たとえば、共有の列挙とIPC\$共有（非表示の名前付きパイプ共有）へのアクセスを無効にできます。 `\vserver cifs options modify``、`vserver cifs options show``、および `-restrict-anonymous`` オプションの詳細については、"[ONTAPコマンド リファレンス](#)"を参照してください。

別途設定がない限り、ヌルセッションを介してストレージ システムへのアクセスを要求するローカル プロセスを実行しているクライアントは、「everyone」などの非制限グループのメンバーとしてのみ機能します。ヌルセッションへのアクセスを特定のストレージ システム リソースに制限するには、すべてのヌルセッション クライアントが属するグループを作成することをお勧めします。このグループを作成することで、ストレージ システムへのアクセスを制限し、ヌルセッション クライアントにのみ適用されるストレージ システム リソースの権限を設定できます。

ONTAPは、`\vserver name-mapping`` コマンドセットにマッピング構文を提供し、nullユーザセッションを使用してストレージシステムリソースへのアクセスを許可するクライアントのIPアドレスを指定します。nullユーザのグループを作成した後、ストレージシステムリソースへのアクセス制限と、nullセッションにのみ適用されるリソース権限を指定できます。nullユーザは匿名ログオンとして識別されます。nullユーザはどのホームディレクトリにもアクセスできません。

マッピングされたIPアドレスからストレージシステムにアクセスするヌルユーザーには、マッピングされたユーザー権限が付与されます。ヌルユーザーがマッピングされたストレージシステムへの不正アクセスを防ぐため、適切な予防措置を講じてください。最大限の保護を実現するには、ストレージシステムとヌルユーザーによるストレージシステムアクセスを必要とするすべてのクライアントを別のネットワークに配置し、IPアドレスの「spoofing」の可能性を排除してください。

ONTAP SMBファイルシステム共有へのアクセス権をNULLユーザーに付与する

nullセッションクライアントによるストレージシステムリソースへのアクセスを許可するには、nullセッションクライアントにグループを割り当てて、nullセッションクライアントのIPアドレスを記録し、ストレージシステム上の、nullセッションを使用したデータアクセスを許可するクライアントリストにそのIPアドレスを追加します。

手順

1. `vsriver name-mapping create` コマンドを使用して、IP修飾子を使用して、nullユーザーを任意の有効なWindowsユーザーにマッピングします。

次のコマンドは、有効なホスト名 google.com を持つ user1 に null ユーザーをマッピングします：

```
vsriver name-mapping create -direction win-unix -position 1 -pattern
"ANONYMOUS LOGON" -replacement user1 - hostname google.com
```

次のコマンドは、null ユーザーを有効な IP アドレス 10.238.2.54/32 を持つ user1 にマッピングします：

```
vsriver name-mapping create -direction win-unix -position 2 -pattern
"ANONYMOUS LOGON" -replacement user1 -address 10.238.2.54/32
```

2. `vsriver name-mapping show` コマンドを使用して名前のマッピングを確認します。

```
vsriver name-mapping show

Vserver:    vs1
Direction: win-unix
Position Hostname      IP Address/Mask
-----
1          -           10.72.40.83/32      Pattern: anonymous logon
                                   Replacement: user1
```

3. `vsriver cifs options modify -win-name-for-null-user` コマンドを使用して、Windowsメンバーシップをnullユーザーに割り当てます。

このオプションは、null ユーザーに有効な名前マッピングがある場合にのみ適用されます。

```
vsriver cifs options modify -win-name-for-null-user user1
```

4. `vserver cifs options show` コマンドを使用して、nullユーザとWindowsユーザまたはグループのマッピングを確認します。

```
vserver cifs options show
```

```
Vserver :vs1
```

```
Map Null User to Windows User of Group: user1
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。